

# ながさき 市議会だより

No.160

2018.5.1

## 正副議長就任のご挨拶



五輪清隆議長



浦川基継副議長

市民の皆様には、日頃から市政に対し、深いご理解と温かいご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

このたび、私どもは議員多数のご推挙により第55代議長、第61代副議長に就任いたしました。

現在、長崎市は、急速に進む人口減少や少子高齢化など多くの課題を抱えており、将来にかかわる重要な時期を迎えております。

今後とも私たち長崎市議会は、議会による市政のチェック機能を最大限に発揮して諸課題の解決に取り組むとともに、長崎市がより住みやすいまちとなるよう、長崎市の発展と市民福祉の向上のため全力を尽くしてまいります。

どうか、今後とも、市民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 主な掲載内容

- 子育て支援施策のさらなる充実が図られます。  
2月定例会の概要…………… 2P
- 一般質問…………… 3P～7P
- 特別委員会からの報告…………… 8P
- 常任委員会における審査の主な内容… 9P
- 議決結果…………… 10P～11P
- 人事、請願、陳情、6月定例会の  
予定など…………… 11P
- 各委員会の構成、議長・副議長選挙、  
議会の動きなど…………… 12P

議会の動きを情報発信しています。  
平日は毎日更新中！



長崎市議会事務局 Facebook

本会議の様様を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。

また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。You Tube(ユーチューブ)でも視聴できます。

長崎市議会

検索



## 子育て支援施策のさらなる充実が図られます。

人口減少、少子高齢化が進む中、長崎市の平成30年度予算は、「人口減少の克服」と「交流の産業化」による長崎創生に向けた取り組みや「次の時代の長崎の基盤づくり」など、未来への投資につながる施策を着実に推進するという考えのもとに編成されたことが市長から述べられました。

特に、喫緊の課題である人口減少対策の一つとして、子育て環境の充実などにさらに力を入れて取り組みを進めることとし、2月定例会では子育て施策に係る新たな制度の創設や、従来の制度の拡大による子育て環境の充実を図るための議案が提案され可決されました。

### ●給付型奨学金の創設

#### 〈第31号議案「長崎市奨学金条例の一部を改正する条例」〉

##### 一部を改正する条例

この議案は、国（日本学生支援機構）や県（育英会）における大学生向けの奨学金が拡充される中、長崎市の奨学金を利用する大学生は年々減少していることから、大学生の貸与型奨学金を廃止し、一時的に多額の費用を要する高校入學準備の負担軽減のため、入學に係る給付型奨学金制度（以下高校生等入學給付金）を創設しようとするものです。高校生等入學給付金は市独自の新たな制度であり、平成30年4月1日から

施行されます。対象者（下記参照）には高校生等一人につき6万3200円が給付されます。なお、高校生等入學給付金の新設に伴い、大学生への貸与型奨学金は平成31年度に廃止されますが、平成30年度までに貸与の決定を受け平成31年度以降も貸与を希望する場合は、在学期間中貸与されます。

### ●子ども医療費の助成対象拡大

#### 〈第35号議案「長崎市福祉医療費支給条例の一部を改正する条例」〉

この議案は、子どもの健康保持と子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、子どもの医療費の一部を助成している福祉医療費の支給制度について、通院に要する医療費の助成対象を拡大しようとするものです。

子ども医療費については、これまで助成対象を順次拡大し、支給方法についても見直しが行われてきました。平成28年4月には入院及び通院における助成対象を小学校卒業までの児童に拡大し、平成29年10月には入院の助成対象を中学校卒業までの児童に拡大しています。今回の改正では通院の助成対象者が中学校卒業までの児童に拡大されます。

なお、助成対象の拡大は平成30年10月1日から施行されます。

## 2月定例会の概要

平成30年2月定例会を、2月21日から3月15日まで開催しました。

定例会初日の本会議では、長崎駅周辺再整備、観光客受入対策、雇用・人口減少対策の3つの特別委員会から委員長報告が行われました。（詳細はP8）

その後、常任委員会の委員の選任を行い（各委員会の名簿はP12）、市長からは、平成30年度の予算編成や、主な取り組みについての施政方針説明と、各議案についての提案理由説明がありました。

2月26日から3月2日までは市政一般質問を行い、16名（会派代表質問7名、個人質問9名）の議員が登壇しました。（詳細はP3～7）

3月5日から12日までは各常任委員会において付託された議案の審査や所管事項調査を行いました。（詳細はP9）

定例会最終日の15日は各常任委員会の委員長から議案審査の報告を行い、市長提出議案60件を議決（平成30年度一般会計予算については減額修正）しました。（詳細はP10～11）

その後、都市整備・交通対策、地域づくり・人口減少対策、コンベンション誘致対策の3つの特別委員会を設置しました。（各委員会の名簿はP12）

## カズオ・イシグロ氏を名誉市民に選定

昨年、長崎市出身の英国人作家カズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞しました。ノーベル文学賞の受賞は本市出身者としては初めてであり、その卓絶な功績とともに、高邁な人格と識見を有しており、今後も市民の誇りとなることから、2月定例会において同氏を名誉市民として選定するための議案が提案され、同意することに決定しました。



▲全会一致で同意されました

### 高校生等入學給付金の対象者（平成30年4月1日施行）

以下の要件を満たす者の保護者

（ただし、生活保護世帯及び市民税所得割非課税世帯は除く）

- ア 高等学校、高等専門学校、専修学校の高等課程及び中等教育学校の後期課程のうち通信制でない学校に在学すること
- イ 経済的な理由によって修学が困難であること（就学援助における準要保護者相当）

# 一般質問

## (会派代表質問)

### 市民クラブ

#### 交流拠点施設の建設事業費関連予算

**問** 2月定例会での提案が予定されていたが、急遽取り下げた理由を伺いたい。

**答** 平成29年3月から公募型プロポーザル方式による事業者公募を実施し、11月に九電工グループを優先交渉権者として決定した。

しかし、グループの構成員である鹿島建設株式会社が平成30年2月9日から指名停止となり、参加資格要件を失ったことから、そのような中で議論するより、できる限り条件がそろった中で議論するほうが望ましいと考え、予算議案の提案を取りやめることとした。

今後、募集要項の規定に基づき、優先交渉権者と構成員の変更について協議を進め、後継の企業が決まった段階で事業費の予算議案を提案し、2021年11月開業のスケジュールを変えることなく進めていきたい。

#### 長崎市手話言語条例制定の見直し

**問** 施政方針において、制定に向けて取り組むとの決意が表明されたが、現在の状況と制定時期を伺いたい。

**答** 手話は、聴覚障害者の重要なコミュニケーション手段であり、障害者基本法においては言語として定義されている。

現在、条例制定の準備を進めており、関係団体等との意見交換では、条例の内容や検討方法などさまざまな意見をいただいている。

これらの意見や他都市の条例等を参考にしながら、長崎らしい条例となるよう十分に検討を行い、平成30年度中をめどに条例を制定できるように進めたい。

また、手話の普及・活用については、職員研修で簡単な手話を学ぶ機会を設けるなど、手話を通じたコミュニケーション支援の充実にも努めており、引き続き取り組んでいく。



### 明政クラブ

#### 大型事業に対する組織のあり方

**問** 新市庁舎建設や交流拠点施設整備など、大型施設関連事業が控えている中、事業を遂行するための組織のあり方をどのように考えているのか。

**答** 長崎市では、大型事業を推進していくための体制、組織のあり方については、必要な職種や人員を一つの所属に集めるのではなく、事業担当所属を中心とし、庁内の関係部署と連携を図りながら事業を推進していく体制がより効率的であると考えており、特に重点プロジェクトとしている事業については、必要に応じ担当の政策監を配置している。

あわせて、特に重要な政策決定や全庁的な事業間の調整などについては、その内容に応じて都市経営会議等を開催し、事業の推進などを行うこととしており、今後もしっかりと取り組んでいきたい。

#### 実効性のある人口減少対策

**問** 雇用や少子化対策等の施策を打ち出しながらも急激な人口減少が続いているが、平成30年度は思い切った対応策を講じようとしているのか。

**答** 自然減対策では、子ども医療費の

助成対象を中学生の通院にまで拡大するとともに、市立小中学校の通学費補助の拡充、高校生向けの新たな給付型奨学金の創設など、子育て環境の充実に努めていく。

社会減対策では、地元企業を紹介する番組の制作・放送や保護者向け地元就職促進セミナーの開催、企業の積極的な採用活動への支援や採用力アップセミナーの開催、県外の合同企業面談会等への参加に対する支援、ワークライフバランス促進などの職場環境整備等に対する支援など、地元企業の「情報発信力の強化」、「採用力の強化」、「雇用環境の向上」を図る取り組みにより、一人でも多くの若者の地元就職や定着につながるよう努めていく。

- ・自然減…出生数に対し、死亡数が多いことによる人口減少
- ・社会減…転入者数に対し、転出者数が多いことによる人口減少





# 公明党

## 子育て世帯への住宅施策

**問** 定住人口対策では特に子育て世帯への支援が重要だと考えるが、特定公共賃貸住宅の家賃を下げるなど、早期に対応が必要な住宅施策について伺いたい。

**答** 子育て世帯への支援としては、子育てに適した環境にある市営住宅について、子育て世帯が優先的に入居できる「定期借家制度」の導入や、子育て世帯等が優先的に申し込むことができる「特定目的住宅」にするなどの取り組みを行っている。

特定公共賃貸住宅の家賃の見直しは、子育て世帯を含む中堅所得者の入居を促すことにもつながると考えているため、入居の状況や近隣の民間賃貸住宅の家賃なども勘案しながら、検討を進めていきたい。

特定公共賃貸住宅…市営住宅の入居収入基準を超える中堅所得者層のファミリー向けの賃貸住宅として、地方公共団体が建設したもの

## 高齢者の終活と生きがい就労への支援

**問** 65歳以上の方などへの人生手帳の

配布についての検討状況を伺いたい。また、高齢者が知識や経験を生かして楽しく働ける場を提供する生きがい就労の取り組みを伺いたい。

**答** 人生手帳については、人生の最終段階をどう過ごすかということを考えるきっかけづくりになることから、作成に向け取り組みたいと考えているが、非常に重要かつデリケートな問題であるため、内容や配布方法等については医療・介護関係者や市民の声を聞きながら検討していく必要がある。

生きがい就労については、シルバー人材センターや相談窓口を設置しているながさき生涯現役応援センター等と連携し、高齢者が働ける場をふやしていきたい。



## 創生自民

### 浜町地区市街地再開発事業の進捗

**問** 事業の進捗状況について伺いたい。また、事業進捗のため市が積極的に関わるべきと考えるが、考え方を伺いたい。

**答** 平成27年1月に11街区により準備組合が設立され、平成28年3月には推進計画が作成されるなど、事業化に向けた検討が進められている。

現在、準備組合では、浜町全体の将来像やまちづくり方針などを再整理し、まち全体で共有していく取り組みが進められている。また、事業化への機運が高まっている街区では、独自にコンサルタント契約を行い、再開発ビルの施設構想などについての勉強会が進められている。

今後、事業着手ができる段階まで合意形成が進んだ街区から、都市計画決定や組合設立など、事業の具体化に向けた取り組みが進められることとなるが、権利者の合意形成が円滑に進むよう積極的な支援を行っていきたい。

### 自主文化事業の取り組み

**問** 市民の豊かさの実感が都市の評価を左右する時代だからこそ、行政の文化施策が問われると思うが、長崎市の取り組みについて伺いたい。

**答** 現在、自主文化事業については、質の高い小劇場型の演劇公演など、良質で多彩な芸術鑑賞の機会を提供する「鑑賞型事業」、高い演奏技術を持った演奏家による学校や地域の公民館などでのアウトリーチコンサートなど、広く芸術文化に親しんでもらうきっかけづくりなどを目的とする「普及啓発

型事業」、市民参加型舞台など、市民の参加により市民とともに事業をつくり上げていく「参加創造型事業」を行っている。

今後とも、市民が身近に芸術文化に触れ、親しむことができるよう、普及啓発型の事業を中心に、丁寧かつ継続的に自主文化事業を実施し、芸術文化を楽しむ市民の裾野の拡大につなげていきたい。



## 日本共産党

### 全ての市立小中学校へのエアコン設置

**問** 寒さ、暑さの中でも子どもたちがゆとりを持って授業を受けることができるよう、エアコンを設置する考えはないのか。

**答** 長崎市では、子どもたちの健康を保持・増進するためには、季節の変化の中で暑さや寒さを感じ、環境への適

応能力を高めることが必要だと考え、原則として冷暖房のない教育環境の中で学校生活を送ることとしている。

そのような中、普通教室へは壁掛式扇風機の設置を進めており、平成30年度までに、全ての小中学校に設置したいと考えている。

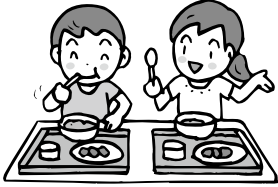
なお、学校ごとに状況が異なるため、定期的に気温や湿度の測定などの現状把握を行い、必要に応じた対策を講じながら、よりよい教育環境づくりに努めたい。

### 大型学校給食センターの建設

**問** 一極集中になる大型給食センターの建設ではなく、既存の施設を改修して継続させる方が保護者も安心できるのではないかと。

**答** 現行の給食室では、調理器具の有無により献立内容に学校間の違いがある、食物アレルギーへの対応、施設等の老朽化などの課題があり、これらを解決するため、給食施設を集約し、学校給食センターを整備することとしている。

学校給食センターでは、エアシャワーやエアカーテンの設置による異物のチェック体制の強化や調理ラインの複数化などによるリスク管理を



行うこととしており、今後とも、将来にわたって安全で安心なおいしい給食を安定的に提供できるよう、新たな学校給食センターを建設し、学校給食の充実を図っていく。

## チーム2020

### V・ファールン長崎への支援

**問** 施政方針では、ことしからJ1を舞台に活躍が期待されるV・ファールン長崎を応援することが表明されたが、具体的な支援策を伺いたい。

**答** 長崎市では、子どもたちにトップレベルの試合を間近で見られる機会の提供やホームゲームを盛り上げることで市民のスポーツへの関心を高めるとともに、長崎市の魅力発信を行うため、平成25年度からV・ファールン長崎応援事業を実施している。

この事業では、小中学生と保護者をホームゲームへ招待しているほか、ハーフタイム中の特産品抽選会の実施、会場周辺での観光ブースの出展など長崎市のPRも行っている。

J1昇格に伴い、より高い事業効果が見込まれることから、平成30年度はまち全体で応援するための機運醸成やアウェーサポーターに対する長崎市のPRも含め、事業を拡大し実施することとしている。

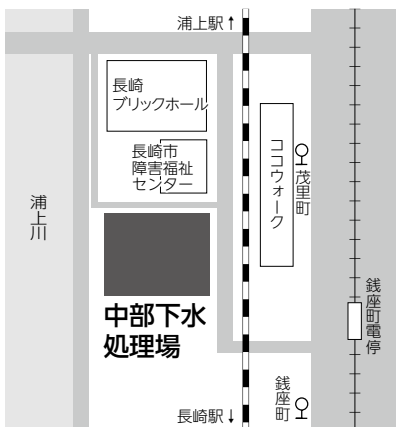
### 中部下水処理場の跡地活用

**問** 5年後に操業停止となるが、解体費用の具体的な内容と跡地活用の検討状況について伺いたい。

**答** 中部下水処理場は都心部と利便性の高い公共交通で結ばれた場所に位置しており、機能停止後の跡地は都心部にぎわいと活力を支える地区として、長崎市の将来を見据えた上で有効な活用方法を見出す必要がある。

平成29年度は、地上構造物、地下構造物、杭基礎に分けて施設撤去費を求め、跡地活用のパターンごとに撤去範囲を組み合わせて概算事業費が算出できるよう調査を行っている。また、既存施設を雨天時の流量調整池として一部活用できないかななどの検討や、浦上川護岸に隣接した建築物の撤去に伴う護岸への影響や安全性に関する技術的検討を行っている。

これらの結果を踏まえ、全庁的な議論の中で検討を進めたい。



▲バス停や電停の近くに位置しています

## 自由民主党

### 金比羅公園整備の進捗

**問** これまでに展望台やハタ揚げ広場などの整備が行われているが、最近は目に見える整備が進んでいないように思われる。現在の進捗状況を伺いたい。

**答** 金比羅公園は、ハイキングやハタ揚げ大会が開催されるなど、市民が自然に親しむ場として利用されている。

一方、車が通行できる道路がなく、イベント時の交通アクセスや緊急車両が進入できないなどの課題があり、取りつけ道路の整備を進めていたが、平成28年度に用地買収が完了したことから、平成29年度は園路整備に着手し、平成30年度も引き続き整備を行う予定である。

今後も公園整備を推進し、当初計画の基本的な整備方針どおり、緑豊かな自然環境を生かした、家族連れでも楽しめる公園として、2021年度の完成を目指して努力していきたい。



▲金比羅公園のハタ揚げ大会



## 長崎大学病院前の渋滞緩和策

**問** 駐車待ちの解消のため、病院駐車場が増設されると聞いているが、信号の調整など、交通対策についてどのように考えているのか。

**答** 長崎大学病院周辺においては、外来駐車場台数の不足などによる駐車待ち車両の影響により、外来患者が集中する日の午前中に渋滞が発生している。この渋滞対策として、長崎大学病院では路線バスの乗り入れや無料シャトル便の運行、ライブカメラによる駐車場渋滞情報の提供などを行っているが、地元の方々の強い要望を受け、新たに約200台の立体駐車場を整備する予定となっている。

長崎市としても、駐車場新設による効果を十分発揮できるよう、長崎大学病院や長崎県警と十分な協議を行い、信号機の調整などを含めて、駐車場への円滑な誘導を行い、交通環境の改善に努めたい。

## 市民クラブ

### 地域センターの窓口対応と相談業務

**問** 平成29年10月から、支所・行政センターを含む市役所の組織再編成によ

り新体制に移行したが、その成果や課題、あわせて、市民や職員からはどのような声が上がっているのか伺いたい。

**答** 市民からは、手続きが近くで済む、相談をしたその日に現場に来てくれたなどの意見をいただいております。困り事にスピーディに対応するといった期待する効果が見えつつある。一方で、窓口が多く場所がわかりにくい、手続きや待ち時間が長いなどの意見もあるため、状況や原因を分析して改善を進めている。

職員からの意見については、庁内で集約して課題解決に努めるとともに、対応方針などを共有しており、窓口業務の端末配置を見直すなど、市民サービスの向上、事務の効率化につなげている。

今後も日ごろから市民や職員の声を聞き、課題をチェックして速やかに対応し、よりよい仕組みを目指していく。

### 長崎市版DMOの形成・確立

**問** これまでの取り組み及び今後の方向性について伺いたい。

**答** 平成28年度は、日本版DMOの候補法人である長崎国際観光コンベンション協会内にDMO推進本部を立ち上げ、データの収集分析やインバウンド戦略の策定を行った。平成29年度は、民間事業者と連携し、外国人観光客のニーズに適応した旅行商品の構築や観

光情報等を一元的に発信するワンストップサイトの構築などを行った。

今後の方向性としては、長崎市版DMOの喫緊の課題である財源や専門人材の確保について検討するとともに、データに基づくマーケティングや観光地経営等のマネジメント機能の整備など、長崎市版DMOの形成・確立に必要な体制構築に向けた協議を進めていく。

日本版DMO(デスティネーション・マネジメント/マーケティング・オーガニゼーションの略)：多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人

### 防災行政無線戸別受信機の整備方針

**問** 防災情報だけでなく、さまざまな生活情報の収集手段としても活用されているが、今後の具体的な整備方針を伺いたい。

**答** 今後の戸別受信機の貸与のあり方については、防災行政無線のデジタル化へ向けて無償貸与の枠を広げることとしている。具体的には、現在貸与している地域防災のかなめとなる自治会長や消防団分団長に加え、聴覚に障害のある方など災害時の避難に支援が必要

な方や、避難支援が期待される民生委員・児童委員の方々等へ新たに貸与する。また、購入を希望される方には2分の1の助成制度を創設するほか、過去に貸与された方で新たな長崎市の制度では無償貸与の対象とならない方には、補助率を4分の3とする。

あわせて、旧町においては、防災メールにより地域ごとの情報を受信できるようにすることで、戸別受信機の代替えとすることも検討したい。

## 明政クラブ

### ビワの振興策における簡易ハウスの導入

**問** 寒害対策として簡易ハウス導入への支援を行っているが、導入の実績と今後の計画を伺いたい。また、降雪により簡易ハウスが倒壊する事態が発生したが、今後の対応策を伺いたい。

**答** 簡易ハウスについては平成24年度から導入を推進し、平成29年度における設置面積は約2.7ヘクタールとなっており、平成34年度までに約6ヘクタールを設置する計画としている。また、ことし1月の降雪により、三和・野母崎地区において約0.5ヘクタールの簡易ハウスが倒壊などの被害を受けたことから、その対応策として、ハウスの補強を含めた仕様の見直しな

どについて長崎県やJA等の関係機関と協議を進めている。今後は暖房機の活用や気象災害に備えた共済加入の推進を図り、災害リスク管理に対するピワ生産者の意識向上の啓発に努めたい。

### 野母崎地区の地域振興策

**問** 恐竜博物館建設により、野母崎田の子地区の全体像はどうなるのか。また、亜熱帯植物園閉園に伴う長崎県からの支援について協議状況を伺いたい。

**答** 恐竜博物館については、現在、基本構想の策定に取り組んでおり、また、亜熱帯植物園の保有植物については恐竜博物館との相乗効果を考え、田の子地区へ移植する活用策を取りまとめた。現時点において、恐竜博物館建設が最も大きな野母崎地区の振興策と考えており、恐竜博物館を核とした地域に潤いをもたらす持続可能なまちづくりについて、地域の方々と引き続き検討していきたい。

また、亜熱帯植物園閉園に伴う長崎県からの支援については、県市で勉強会を開催するとともに、県に対し財政支援についての要望も行っており、今後とも、財政支援の枠組みなどについて協議を重ねていきたい。

### 小島養生所跡の完全保存と学校建設

**問** 小島養生所の価値を見出せないま

ま、遺跡の上に学校建設を進めることは問題があるのではないか。

**答** 小島養生所が歴史上果たした役割は大きいものと考えている。体育館側の遺構については全て現状保存し、埋蔵文化財の最適な保存方法とされる埋め戻しを基本に、一部、露出展示や移設を行いながら保存・活用を図ることとしており、各団体の意見も参考としながら、長崎大学と展示に係る具体的な協議を進めている。

一方、学校建設については、地元住民との協議の末に決定した経緯があることや校舎の老朽化が進んでいることから、佐古小学校敷地に新校舎を建設することとしている。

長崎市としては、遺跡の保存も学校建設も重要な責務として捉え、それぞれ最大限の成果を求めて両立を目指すこととしている。

## 公明党

### 子どもの貧困対策

**問** 子どもの貧困の現状と課題、また課題解決への取り組み方針を伺いたい。

**答** 長崎市の17歳以下の子どもの生活保護受給率は、平成29年10月現在で約3パーセント、生活保護に準じる程度に困窮している準要保護世帯の認定を受けた児童生徒数は平成28年度で全児

童生徒の約20パーセントとなっている。子どもの貧困問題は、経済的困窮を背景に生活や教育面など多面的・複合的問題を含むことから、対策に当たってはさまざまな施策分野を総合的に推進する必要がある、社会全体で取り組むべき課題である。

貧困の連鎖を断ち切るには、貧困のリスクが高い子どもや家庭を早期に把握し、必要な支援へつなげることが重要であるため、今後とも関係行政機関や地域の民間団体と連携・協力しながら効果的な支援の充実を図りたい。

### 「サンゴ礁の島」高島

**問** 高島海水浴場は天然のサンゴやクマノミなどを間近で観察できることが魅力の一つだが、サンゴ等の価値をどのように認識しているのか。また、民間企業からの支援を受け、地元のツーリズム団体がサンゴの保全と再生技術の実証実験を検討しているが、この取り組みに対してどのように考えているのか。

**答** サンゴ礁は高島の地域資源の一つであり、交流人口の拡大に資するもので、保全の必要があると認識しており、海水浴場内にサンゴの生息区域などを示した看板を設置し、利用者等への注意喚起を行うなど、場内のサンゴ保全に取り組んでいる。

また、地元のツーリズム団体が企業

の支援を受けてサンゴの再生実験を行う意向があることは聞き及んでおり、意義のあるものと認識している。サンゴの保全・再生においては漁業への影響や利用者の安全面等に配慮し、地元関係団体とも協議しながら取り組みを支援していきたい。

## 創生自民

### 周辺部地域の公共交通の維持・確保

**問** 人口減少、少子高齢化が進む周辺部の交通手段の維持・確保の取り組みを伺いたい。

**答** 周辺部等のバス網が行き渡っていないところや路線バスの採算性などの問題から、事業者による運行が難しい地域においては、コミュニティバスや乗り合いタクシー等を運行しているが、利用者は減少傾向にあり、運行に伴う財政負担も年々増加している。

周辺部における日常の交通手段の確保は重要な課題であると認識しているため、暮らしに必要な施設が集中する地点と生活の中心となっている地点を公共交通でしっかりとつなぐことで、地域住民の利用を促しながら、一方で、交通事業者と連携し、効率的な運行となるよう見直しを行いながら、公共交通の維持・確保に努めていきたい。



## 特別委員会からの報告

長崎駅周辺再整備 特別委員会	観光客受入対策 特別委員会	雇用・人口減少対策 特別委員会
<p>◎市がリーダーシップを発揮して意見調整しながら再整備事業に取り組むことを要望</p> <p>長崎駅周辺地区は、市民のみならず多くの人が行き交う場所であり、新幹線整備を契機として、国際観光文化都市長崎の玄関口にふさわしい長崎駅周辺の再整備の推進に寄与するため、長崎駅周辺再整備に係る諸問題を把握し、利便性の向上や安全性の確保、交通結節機能の強化、周辺地区との連携などの諸方策について調査を行いました。</p> <p>その結果、市民からの意見の聴取に当たり、十分な情報をパスなどのわかりやすい形で提供することに加え、交通結節点における公共交通の役割を果たすため、西口へのバスの乗り入れの検討も含め、交通事業者を含む関係者間の意見調整を積極的に行うよう要望しました。</p> <p>また、新幹線については、本来の時間短縮効果を発揮するため、周辺自治体等と連携し、フル規格による山陽新幹線への直接乗り入れの実現を国に強く働きかけるよう要望しました。</p> <p>さらに、旭大橋の低床化や都市計画道路浦上川線の延伸などについて、県に事業の推進を働きかけるとともに、状況の変化に対応しながら、国道202号の平面横断の実現に努力を重ねるよう要望しました。</p> <p>最後に、市民や関係者へ事業について丁寧に説明した上でその意見を聴取し、また、その意見・利害が対立する場合には、市がリーダーシップを発揮して意見調整しながら十分な検討を重ね、長崎駅周辺再整備事業に引き続き取り組むよう要望しました。</p>	<p>◎経済活性化や雇用拡大につながる観光客誘客と消費拡大の施策に取り組むことを要望</p> <p>交流人口の拡大による経済活性化の視点から、さらなる観光消費額拡大に向け、国内外からの観光客誘致と受け入れの現状と課題を把握し、観光客受入に係る施策の推進に寄与するため、観光立国ショーケース及び長崎市版DMOの取り組みや夜景観光の推進などの諸方策について調査を行いました。</p> <p>その結果、特に長崎市版DMOの形成・確立の推進については、候補法人である長崎国際観光コンベンション協会との役割分担や組織の責任と権限のあり方を明確にし、着地型旅行商品の造成・販売などから得る事業収益などによる自主財源の確保も行いながら、成果を生み出せる組織とすべく取り組みを進めるよう要望しました。</p> <p>また、クルーズ客船観光客の消費拡大を促すための新たな商品造成などに関係部局で連携して取り組むよう要望しました。</p> <p>さらに、観光客の滞在時間を延ばすため、世界遺産の構成資産のライトアップなどによる長崎の夜の魅力アップを図るとともに、「食」の魅力向上に係る取り組みを進め、観光客の満足度向上を図るよう要望しました。</p> <p>最後に、施策に係る事業内容の検証・評価やさらなる充実に向けた予算確保に努めるとともに、より一層の外貨獲得のため、観光客の誘客と消費拡大のための取り組みを進め、経済活性化及び雇用拡大に結び付くような施策展開を進めるよう要望しました。</p>	<p>◎若年者の流出に歯どめをかけるため、雇用を重視した長崎市独自の施策に取り組むことを要望</p> <p>長崎市の人口減少の主な要因は、10代後半から20代後半までの若者の市外への転出超過であり、その理由として「仕事」の割合が高い状況であることから、各産業における雇用の現状及び課題を把握するとともに、若者の市外転出に歯どめをかけ、市外からの転入の促進を図るための諸方策について調査を行いました。</p> <p>その結果、若年者の雇用を重視した、都市間競争に負けないための他都市にない独自の一歩踏み込んだ施策に取り組む必要があることから、企業誘致については、用地不足などの地形的な悪条件を踏まえ、めり張りの効いた行政支援に努めること、公共用地への誘致についてもあらゆる機会を捉えて可能性を求めて取り組むことを要望しました。</p> <p>また、長崎市の企業の大部分を占めている中小企業に対し、県外企業に負けない採用力や経営力向上へのサポートに取り組むこと、ターゲットを絞った効果的な施策を高校、大学、産業界、国や県と連携して検討を進め、全国との所得格差の縮小を図りつつ、住まいや子育て支援の充実により若年者の経済的負担を軽減させることを要望しました。</p> <p>最後に、人口減少対策に必要な施策をリストアップし、根拠となるデータや成果指標、予算などの数値的な裏付けを具体的に示しながら、第四次経済成長戦略やまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げている目標の確実な実現に向けて取り組むことと、スピード感を持って最善策に取り組むとともに、市民の声もしっかり聞いて検証することを念頭において、取り組みを進めるよう要望しました。</p>



# 常任委員会における審査の主な内容

## 総務委員会

新市庁舎建設に係る事業費など、平成30年度一般会計予算（総務委員会所管部分）を修正可決

総務費において、新市庁舎建設に係る実施設計、各種調査及び建設工事等を行うための新市庁舎建設事業費が計上されました。

委員会では、行政サテライト機能再編成に伴う本庁舎内の職員数の減少及び今後の人口減少を考慮して、コンパクトな新市庁舎を設計する考えの有無について質すなど、慎重に審査しました。

そのほか、長崎LOVERSプロジェクトを推進するための全庁的なPRの取り組みについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、長崎LOVERSプロジェクトについては、市民への周知を十分に図るとともに、職員が一丸となって全庁的にPR活動に取り組みることにより、観光客及び交流人口の拡大につなげてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、一部減額する修正案が提出されたため、賛成多数で修正案のとおり原案を修正して可決しました。

## 教育厚生委員会

学校給食センター整備に係る事業費など、平成30年度一般会計予算（教育厚生委員会所管部分）を修正可決

教育費において、（仮称）長崎市三重学校給食センターを整備する学校給食施設整備事業費が計上されました。

委員会では、PTA連合会との共通理解が図られたとすることの真偽や、PTAや議会に対する説明が不足している現状での予算計上の妥当性について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、学校給食センターの必要性については一定理解するが、現段階において、地域やPTAなどへの説明が不十分であることから、今回の提案は時期尚早であるとの理由により、学校給食センター建設に係る学校給食施設整備事業費900万円及び学校給食センターPFIアドバイザリー委託に係る債務負担行為3057万5000円を全額削除しようとする修正案が提出されました。

委員会では、原案及び修正案に対する賛成意見、また、一部委員から反対意見が出され、採決の結果、賛成多数で修正案のとおり原案を修正して可決しました。

## 環境経済委員会

長崎市の雇用促進に係る事業費など、平成30年度長崎市一般会計予算（環境経済委員会所管部分）を可決

商工費において、地元企業の雇用や企業立地による雇用の増を図るための企業立地推進費が計上されました。

委員会では、施設等整備奨励金の交付要件の妥当性、交付に当たつてのチェック体制と事業効果の検証、オフィス系企業の誘致促進を目的に建設された、クレインハーバー長崎ビルへの今後の誘致予定について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、地場産業の育成、中小零細企業を支援する予算への切り替えを求める立場から認められないなどの反対意見が出されました。

一方、奨励金の内容について部内で検証し、市の最優先施策である企業誘致・雇用拡大に活用されるよう、次の条例見直しに向けて検討してほしい、オフィスビル建設促進補助金については多額の市税を投入していることから、県との連携を強化し、当初計画どおり企業誘致に取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

## 建設水道委員会

長崎市公園条例の一部を改正する条例を可決

今回の改正は、施設の老朽化等を総合的に勘案し、野母崎総合運動公園水泳プールを廃止しようとするものです。

委員会では、同プールは、これまで長きにわたり市民から親しまれていることから、地域住民や施設利用者への説明状況について質すなど慎重に審査しました。

理事者からは、今後施設利用者に対して丁寧な説明していくとの考えが示されましたが、例年利用している保育園等の団体の今後の運営に影響を及ぼすことが懸念されることから、早急に説明を行うよう要請し、一旦審査を中断しました。

その後の審査において、理事者から、定期的に利用している団体に対して説明を行い、廃止の方向性については理解をいただいたことが報告されました。その結果、プールの廃止に伴い利用者が不利益をこうむることがないよう、廃止後の代替措置については関係部門と十分に連携を取りながら対応してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

## 議決結果（予算・条例など）

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第4号	平成29年度長崎市一般会計補正予算（第7号）	所管の各常任委員会	原案可決
第5号	平成29年度長崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	教育厚生	〃
第6号	平成29年度長崎市土地取得特別会計補正予算（第2号）	建設水道	〃
第7号	平成29年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	教育厚生	〃
第8号	平成29年度長崎市下水道事業会計補正予算（第3号）	建設水道	〃
第9号	平成30年度長崎市一般会計予算	所管の各常任委員会	修正可決
第10号	平成30年度長崎市観光施設事業特別会計予算	環境経済	原案可決
第11号	平成30年度長崎市国民健康保険事業特別会計予算	教育厚生	〃
第12号	平成30年度長崎市土地取得特別会計予算	建設水道	〃
第13号	平成30年度長崎市中央卸売市場事業特別会計予算	環境経済	〃
第14号	平成30年度長崎市駐車場事業特別会計予算	建設水道	〃
第15号	平成30年度長崎市財産区特別会計予算	総務	〃
第16号	平成30年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	教育厚生	〃
第17号	平成30年度長崎市介護保険事業特別会計予算	〃	〃
第18号	平成30年度長崎市生活排水事業特別会計予算	建設水道	〃
第19号	平成30年度長崎市診療所事業特別会計予算	教育厚生	〃
第20号	平成30年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	〃
第21号	平成30年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計予算	〃	〃
第22号	平成30年度長崎市水道事業会計予算	建設水道	〃
第23号	平成30年度長崎市下水道事業会計予算	〃	〃
第24号	長崎市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例	教育厚生	〃
第25号	長崎市附属機関に関する条例の一部を改正する条例	総務	〃
第26号	長崎市職員退職手当条例等の一部を改正する条例	〃	〃
第27号	長崎市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第28号	長崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	教育厚生	〃
第29号	長崎市手数料条例の一部を改正する条例	総務	〃
第30号	長崎市立中学校条例の一部を改正する条例	教育厚生	〃
第31号	長崎市奨学金条例の一部を改正する条例	〃	〃
第32号	長崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃
第33号	長崎市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	〃	〃
第34号	長崎市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第35号	長崎市福祉医療費支給条例の一部を改正する条例	〃	〃
第36号	長崎市介護保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
第37号	長崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
第38号	長崎市旅館業法施行条例の一部を改正する条例	〃	〃
第39号	長崎市都市公園条例の一部を改正する条例	建設水道	〃



議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第40号	長崎市公園条例の一部を改正する条例	建設水道	原案可決
第41号	長崎市地区計画の区域内における建築物に係る制限に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第42号	長崎市営住宅条例の一部を改正する条例	〃	〃
第43号	名誉市民の選定について	一審議	同意
第44号	過疎地域自立促進市町村計画の変更について	総務	原案可決
第45～47号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について（高島辺地ほか2件）	〃	〃
第48号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市市民活動センター）	〃	〃
第49～50号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市科学館ほか1件）	教育厚生	〃
第51～52号	公の施設の指定管理者の指定の一部変更について（長崎市科学館ほか1件）	〃	〃
第53号	工事の請負契約の締結について （稲佐山公園斜面輸送施設整備工事（3））	建設水道	〃
第54号	工事の請負契約の締結について（外海地区中学校屋内運動場棟建設主体工事）	教育厚生	〃
第55号	工事の請負契約の一部変更について（仁田佐古小学校建設特殊基礎工事）	〃	〃
第56号	包括外部監査契約の締結について	総務	〃
第57号	平成29年度長崎市一般会計補正予算（第8号）	建設水道	〃
第58号	長崎市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例	教育厚生	〃

※全ての議決結果は、長崎市議会ホームページでごらんになれます。

## 6月定例会の予定

6月	7日(木)	本会議(招集日)
	12日(火)～15日(金)	本会議(一般質問) (4日間)
	18日(月)～21日(木)	常任委員会(4日間)
	22日(金)	特別委員会
	26日(火)	本会議(委員長報告等)

※日程は変更となる場合があります。

## 人事

次の人事案件について同意することに決定しました。

### ▼監査委員

三井 敏弘 氏(新任)

### ▼固定資産評価員

宮田 泰豪 氏(新任)

### ▼人権擁護委員

合澤憲一郎 氏(再任)

鮎川 泰輔 氏(新任)

椎木 紀子 氏(新任)

杉本 良和 氏(再任)

永間 逸男 氏(再任)

濱田 和英 氏(新任)

行武 恭信 氏(再任)

## 請願

委員会審査を行った請願は、次のとおりです。

▼すべての人が安心できる年金制度の創設を求める請願  
(総務委員会/不採択)

▼学校給食の給食センター方式の撤回を求める請願  
(教育厚生委員会/不採択)

## 陳情

委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

教育厚生委員会

▼国民健康保険税の引き下げを求める陳情

▼銭座防空壕の保存に関する陳情

▼養生所／(長崎) 医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情 VII

## 本会議で手話通訳を実施

2月定例会初日の本会議において、市長の施政方針説明時に手話通訳を導入し、ケーブルテレビ・インターネットで生中継を行いました。6月定例会からは、招集日と最終日の本会議に導入し、生中継を実施する予定です。



▲放送中の様子

# 各委員会の構成が新たにになりました。

常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会が新たに選任され、各委員会において委員の互選によりそれぞれ委員長及び副委員長を選出しました。(五十音順、◎印は委員長、○印は副委員長)

## 常任委員会

### 総務

◎ 山口まさよし  
○ 相川 和彦  
浅田 五郎  
五輪 清隆  
内田 隆英  
梅原 和喜  
武次 良治  
中村 照夫  
深堀 義昭  
向山 宗子

### 環境経済

◎ 馬場 尚之  
○ 平野 剛  
池田 章子  
井上 重久  
大石ふみき  
筒井 正興  
永尾 春文  
久 八寸志  
毎熊 政直  
吉原 孝

### 教育厚生

◎ 山本 信幸  
○ 中里 泰則  
浦川 基継  
堤 勝彦  
中西 敦信  
西田みのぶ  
橋本 剛  
福澤 照充  
山崎 猛  
吉原日出雄

### 建設水道

◎ 中村 俊介  
○ 後藤 昭彦  
岩永 敏博  
奥村 修計  
木森 俊也  
幸 大助  
佐藤 正洋  
野口 達也  
林 広文

## 議会運営委員会

◎ 梅原 和喜  
○ 山口まさよし  
岩永 敏博  
武次 良治  
西田みのぶ  
林 広文

## 特別委員会

### 都市整備・交通対策

◎ 池田 章子  
○ 山崎 猛  
内田 隆英  
奥村 修計  
幸 大助  
佐藤 正洋  
筒井 正興  
中村 俊介  
馬場 尚之  
福澤 照充

### 地域づくり・人口減少対策

◎ 後藤 昭彦  
○ 木森 俊也  
相川 和彦  
浅田 五郎  
井上 重久  
大石ふみき  
永尾 春文  
中里 泰則  
橋本 剛  
久 八寸志  
毎熊 政直

### コンベンション誘致対策

◎ 向山 宗子  
○ 堤 勝彦  
中西 敦信  
中村 照夫  
野口 達也  
平野 剛  
深堀 義昭  
山本 信幸  
吉原 孝  
吉原日出雄

## 議長・副議長選挙

2月定例会最終日の3月15日、野口達也議長から議長の辞職願が提出され、本会議で許可されたことに伴い議長選挙を行った結果、第55代長崎市長に五輪清隆議員を選出しました。また、同じく筒井正興副議長から副議長の辞職願が提出され、本会議で許可されたことに伴い副議長選挙を行った結果、浦川基継議員が第61代長崎市長に選出されました。就任及び退任に当たり、新旧正副議長からの挨拶がありました。



▲議長選挙の様子

## 議会の動き

○長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙(3月15日)

本市議会から五輪清隆議員が、新たに長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員として選出されました。

○会派代表者の変更(3月15日)  
市民クラブ(11名)の会派代表者に、野口達也議員が就任しました。

## その他

○社会福祉法人等無報酬役員届出書の提出

長崎市議会議員政治倫理条例に基づき、3月6日に内田隆英議員から届出書が提出されました。

お問い合わせ 議会事務局総務課  
電話 095-1829-1198

## ○議員研修

3月20日、龍谷大学教授を講師にお招きし、「質問力を高める 議会力にいかす」をテーマに議員研修を実施し、一般質問でよりよい答弁を引き出すための着眼点や手法などについて多くの議員が学びました。

